Rotary Club of AMA weekly report.



2025~2026年度 国際ロータリーテーマ

よいことの ために

手を取りあおう

2025-2026年度 RI会長 フランチェスコ・アレッツォ

第2760地区ガバナー 鈴木 康仁

会長 黒川 元則 副会長 中澤 浩一

幹事 小倉 廣三

例会日 毎週月曜 例会場 名古屋マリオットアソシアホテル 17F ルピナス

【公共イメージ向上委員会】

委員長 東海 広光 副委員長 神谷 智

委員 黒野晃太郎・酒井 和雄・舩原 久尚・臼井 幹裕

2025年 7月 14日(晴れ) 第3週 第2513回例会

Song

"それでこそロータリー"

Attendance

会員	6 2 名	欠席	7名	出席率	82.50%

President Time

黒川元則 会長



みなさん こんにちは。

大変猛暑日が続いておりますので、熱中症対策や健康管理には十分気を付けて頂きたいと思います。

さて、本日はクラブアッセンブリーとなっておりますので、 各委員長さんには一年間お世話になります。事業発表の方も 宜しくお願い致します。

また、本日は豊川R Cさんから地区大会の PR にお見えになっております。大変お忙しいと思いますが、後程よろしくお願い致します。

さて、今月はR Cの母子の健康月間でもありますが、今年は昭和 100 年の節目でもあります。最近はよく、人生 100 年時代とも言われるようになって来ています。そこで、今日は古代インドの人生観に基づいた四住期の話しをしたいと思います。古代インドの考え方に人生 100 年とし、4 分割に分ける四住期というものがあります。

0歳から25歳、25歳から50歳、50歳から75歳、

75 歳から 100 歳 に 4 分割する訳ですが、0 歳から 25 歳 迄をこれ何かと言ったら学生期といって、学ぶ生きる期と書きます。おぎゃあと生まれて、自分自身で自分の事が出来るようになる、就職迄含めて自分の事が出来るようになる、生きる為の術を学ぶ 0 歳から 25 歳を学生期と言います。

25 歳から 50 歳迄を家住期と言って、家に住む期と書きます。これは家族を作ったり、子供を作ったり、仕事を安定させたりと、生活の為に一家の大黒柱として心身の鍛錬を通して成長して行く時期です。

次に50歳から75歳迄を林住期といって林に住む期と書きます。古代インドで言ったら、50歳過ぎたら子供や孫に執着するんじゃなくて、これからの自分自身の余生を楽しむ為にもう一回修業しなさいみたいな、お金も時間の余裕出来、色んな事がいっぱい出来る時なのでやりなさい、やらなければいけない、要は自分のやり事を見つける、新たな事にもチャレンジをして行くと言う期なんです。

そして 75 歳から 100 歳迄を遊行期と言って、遊びに行く 期と書きます。これは人生 75 歳を通り過ぎたら、自分の人 生にいつ死んでも後悔がないように、やりたい事、好きな事 をやっていく、でも、もし体力がなければ、今出来る事が何 なのか考えて後悔の無いようにやってゆく、これは何も世を 捨てることではなく、自分らしさを大切にし自分の内側と向 き合い、執着等を手放し自由に生きる「人生の完成期」とも 言える大切な時期と言われています。

四住期の考え方は人生にそれぞれの時期があり、それぞれに意味と役割、ふさわしい生き方を大切にする事を言っています。私達も、すでに色々な経験を重ねて、今は林住期、遊行期と言われる人生の後半に差しかかっています。そう言う所では、これからは、頑張る事を少し脇に置いといて、心豊かに、自分をゆるし、人をゆるし、生き様そのものを何よりも大切にして、今年度も大いにロータリーライフを楽しんでいただければと思います。

以上で会長挨拶とさせて頂きます。

Today 7月28日 (第2514回)

担当 黒川元則 会長

演題 ガバナー補佐訪問

大竹ガバナー補佐(あまRC)

Next Week 8月4日 (第2515回)

担当 竹田竜一郎 会員増強委員委員長

演題 クラブフォーラム

Secretary Report (幹事報告) 小倉廣三 幹事

- 1. 次週7月21日(月)は海の日による休会となります。 次回例会は7月28日ガバナー補佐訪問となります。
- 2. 7月28日(月)例会はガバナー補佐訪問となります。 会員の皆様はジャケット・ネクタイ着用にてご参加いた だきますようお願いいたします。ガバナー補佐訪問終了 後、クラブ協議会をマリオットホテル17階「楓」開催 いたします。役員・理事・各委員長・入会3年未満の新 会員はご参加いただきますようよろしくお願いいたしま す。
- 3. 第2512回例会・第2513回例会のウィークリーに つきましては7月28日配布させていただきますのでよ ろしくお願いいたします。

ご投函有り難うございます

豊川ロータリークラブ様

豊川ロータリークラブです。本日は PR 時間いただき有り難うございます。

地区大会豊川でお待ちしております。

黒川元則 会長

本日はクラブアッセンブリーです。 各委員長よろしくお 願い致します。

豊川ロータリークラブより地区大会の PR に来られています。よろしくお願いいたします。

中澤浩一 副会長

豊川ロータリークラブ 田中会長・吉田幹事 本日はご 苦労様です。

皆さん猛暑が続きます。熱中症には十分お気を付けください。

小倉廣三 幹事

豊川ロータリークラブ 田中粋人会長・吉田広明幹事 ようこそあまロータリークラブへお越しくださいました。 地区大会 PR よろしくお願い致します。

各委員長のみなさん 就任挨拶よろしくお願い致します。 西川広樹

暑い日が続きます。熱中症に注意しましょう。

水野眞君

アメリカのヒューストンバレエを観ました。日本人の主 役でした。

伊藤英毅君

昨日はコーノトリを観て楽しんでいました。

北野庸夫君

家内の誕生日に甘まあ~い贈物ありがとうございます! 糖尿の私は少しだけ、おすそ分け!

黑野晃太郎君

会長・幹事 いろいろ大変ですね。ゆったりと行きましょう。

栗木和夫君

昨日 石川県和倉温泉に行ってきました。寂しい街並み 復興はまだほど遠い。おいしいさしみのどくろで、おい 酒。

横井久雄君

天皇陛下がモンゴル訪問、米山奨学生のガラさんが理事 長をしている新モンゴル学園を訪れ日本式教育を見学さ れた。私も数年前当学園日本留学クラスで 45 分間日本 語(名古屋弁で)の教育をいたしました。

大竹敬一君

浅野委員長、二コのみなさん、1 年間よろしくお願い致 します。

山田広明君

2025-2026年度クラブ会長・地区大会実行委員 田中 粋人様 クラブ幹事・地区大会実行委員 吉田広明様、ようこそあまロータリークラブへ。本日はよろしくお願い 致します。

加藤徹君

昨日、お昼頃大治町で用事があったので食べ口グでランチ検索。ベッラルーナというイタリア料理屋さんに行きました。おいしくてリーズナブルでしたのでまた行きたいです。

加藤春視君

芋掘り楽しみにしています。

田中正博君・光岡正彦君・後藤裕一君

本日はクラブアッセンブリーです。 各委員長よろしくお 願い致します。

水谷安紀君・服部竜也君・浅野世志雄君・木内友也君 暑い日が続きます。熱中症に注意しましょう。

武井正君・北川裕士君

二コボックス委員会の皆様、お疲れ様です。

総額 59,000 円集まりました。 ありがとうございました。 次回もよろしくお願い致します。

合 計 59,000円

クラブアッセンブリー

米山記念奨学委員長 神野恭寿君



米山記念奨学委員会は勉学・研究 のために日本の大学・大学院に在 籍している、将来日本と世界との 懸け橋となって国際社会で活躍 する優秀な留学生の奨学を目的 とする日本最大規模の民間奨学 制度です。

第1に

黒川年度は奨学金を渡すだけでなく、加藤文彦カウンセラーと協力し、ロータリクラブメンバーの皆様と奨学生が懇親を深めることにより重点を置く。(二コボックス受付・各種例会参加)

第2に

この制度を分かりやすくクラブメンバーに周知していただく と共に奨学生を支援する。

第3に

一人でも多くの米山功労者を増やす努力をする。

第4に

地区米山奨学委員会に出向することにより、より分かりやす く米山奨学制度を皆さんにお伝えする。

具体的には

- (1)米山記念奨学会へ普通寄付金として、会員一人当たり 5,000 円の寄付をして頂く。
- (2) 会員に米山功労者 (累計 10万円を1回とカウント)
- ・米山功労者(1回目を米山功労者)
- ・マルチプル(2~9回米山功労者マルチプル)
- ・メジャードナー(10回目以降を米山功労者マルチプル)になってもらえるよう努力する。
- (3) 特別寄付金の免税制度について説明する。
- (4)米山記念奨学生をカウンセラーとともに支え、あまロータリークラブの事業に参加してもらう。

ロータリー情報委員長 臼井幹裕君



皆様、こんにちは。いよいよ黒 川元則年度が始まりました。私 は、ロータリー情報委員長を拝 命しました。

ロータリー情報委員長は、慣例 により3年前に会長職を務めた 者が担う重責であります。 会長方針、「Bright future Attractive club 輝く未来へ魅力あるクラブ」「次はあなたの番です」とされ、リーダーとして前向きに取り組む姿勢が示されて、とてもいい感じです。私はもとより力不足ですが、新会員の面接を始めとして、スポンサーと連携して新会員がクラブになじめるよう、ロータリーライフに関する研修会を企画し、クラブの「親睦と奉仕」にとって手助けになれればと思います。よろしくお願いします。



会員増強委員長 竹田竜一郎君 会長方針の「輝く未来へ 魅力 あるクラブへ」の方針に則り、 あまロータリークラブへ入会し たくなるような、そして、現会 員が退会をしなくなるような魅 カあるクラブになるように取り

組みます。退会防止の為、親睦活動委員会をはじめ、他の委 員会とも積極的に連携をしていきたいと考えております。

- (1) 入会候補者との交流の為、食事会やゴルフ会を企画します。
- (2) 各委員会や趣味の会と連携し、候補者とも積極的にれんけいしていきたいと考えております。
- (3) クラブフォーラムでのアンケート実施。
- (4)年間出席優秀者の発表及び記念品の贈呈。

以上、皆様のご協力をいただかなければ進められない事も多くございますので、何卒、ご理解、ご協力の程、宜しくお願い致します。

公共イメージ向上委員長 東海広光君



ウイークリーの充実に重点を置き、今まで以上にウイークリー の作成に力を注ぎ、会員の皆様 全員に楽しんで読んでいただけ るように心がけたいと思います。

ニコボックス委員長 浅野世志雄君



こんにちは 黒川年度 二コボックス委員長の浅野です。

今年度には L.A ロジャースの大 谷選手級の長期にわたりニコボ ックスで活躍されている横井副 委員長。 100 歳を超えまだまだ 現役で元気な水野さんやニコボ

ックス委員長経験者の水谷さん、家田さん、中島さん、若手 の神谷さん、木内さんを中心に活動していきます。

さて、今年度の活動方針ですが「二コボックスの趣旨を会員によく理解して頂き、快くメッセージの投函(寄付)して頂けるよう努める」が二コボックス委員会の方針です。これからも二コボックスに快く投函して頂くように、ちょっとした工夫や検討事項を理事会に提出していきたいと思っております。後藤年度では二コボックスに総額 2,200 千円もの多額の資金が集まりました。2,200 千円を会員数で割ると今年度の年間の一人当たりの期待値になると思います。二コボックスで集めた資金は奉仕事業のみに利用される資金です。

奉仕活動は

1、職業奉仕 2、青少年奉仕 3、社会奉仕 4、国際奉仕です。

青少年奉仕委員会助成事業と社会奉仕委員会助成事業は毎年 通常の奉仕事業です(NPO 法人元気大治街づくり、ボーイス カウト、いきいき花クラブ等)。後藤年度での特別事業は職業 奉仕委員会事業:伊那食品工業株式会社視察と国際奉仕委員 会事業:ミャンマー緊急支援金です。各自ひとりではできな い事業ですが皆様から頂いた資金をまとまった金額で迅速に 対応できるのはロータリアンとして光栄なことだと思います。 前回の例会で社会奉仕の加藤委員長も話されていましたが、 ロータリーと縁がない事業がまだまだあると思います。その 時のために余裕資金も必要です。このご時世いろいろ大変だ と思いますが、今後もあまロータリークラブがカッコよく奉 仕活動できるように皆様のご支援、ご協力よろしくお願い致 たします。

プログラム委員長 山田朝子君

会長方針"Bright future Attractive club It's your turn"に基づき、会員の皆様に興味を持っていただくことができるような卓話をお願いしていきたいと考えております。

卓話者にふさわしい方をご推薦いただける場合は、ぜひお声がけください。また、外部の方だけでなく、できるだけ会員のお話をお伺いする機会を設けたいと思っております。その際は、「はい」か「Yes」でお引き受けいただけるとありがたいです。1年間、よろしくお願いいたします。

会場委員長 山下正人君



会長方針「~輝く未来へ 魅力あるクラブ~ 次はあなたの番です」に基づき、各例会が会員及びゲストの皆様の、親睦・絆の深まる場となるよう努力してまいります。また、魅力あるクラ

ブとするため、更なる学びの場を提供すると共に、事前準備 を徹底し滞りのない会場運営を心がけてまいります。

委員メンバー全員で協力して、滞りのない会場運営をします。 充実した例会を開催するため、IDM を開催します。親睦活動 委員会ならびに各委員会と連携を図るため、合同 IDM を開催します。

保健委員長 篠田耕伸君



保健委員会の篠田です。

関税の件、何時までも終わらない戦争、不甲斐ない WHO と、 大国の意向で色々なことが決められ、振り回され、何が正しいか?良くわからない今の世界。

そんな時だからこそ、自分で情報を取って、納得して行動することが重要だと思います。

保健委員会として、会員とその家族の身体と歯の健康を、太 く長く保って頂けるように考えて、情報提供したいと思って います。

そして、①年二回の卓話の実施 ②随時、歯科についての相 談 を考えています。

よろしくお願いいたします。